

厚生労働省
東京労働局発表
令和4年5月31日

担当	東京労働局労働基準部安全課 課長 小嶋三喜雄 主任安全専門官 飯塚 直樹 安全専門官 横山 高志 電話 03(3512)1615
----	--

全国安全週間を7月に実施します。

～令和4年度の安全衛生に係る東京労働局長表彰受賞者が決定～

東京労働局（局長 辻田博）では、事業者等の関係者が、安全と健康に関する問題を深く認識し、改めて、労働者の安全と健康の確保に対する取組の決意を共有する機会として、広く安全意識の高揚を図ることを目的とした全国安全週間（準備期間：6月1日から30日、本週間：7月1日から7日）を実施します。

この期間中に、本年の「安全衛生に係る東京労働局長表彰」受賞者に対する安全衛生表彰式を執り行います。また、第18回東京産業安全衛生大会を開催いたします（新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮し、オンラインによるWEB方式にて公開予定）。

【取組概要】

1 全国安全週間の実施（別添1）

（1）実施期間

準備期間：6月1日から30日、本週間：7月1日から7日

（2）スローガン

「安全は 急がず焦らず怠らず」

（3）労働局の取組

- ・ 事業者、関係団体等に対する災害防止要請
（要請文書の写しを東京労働局 HP 全国安全週間コーナーにて掲載予定）
- ・ 安全パトロールの実施
- ・ 労働災害防止に係る説明会の開催

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施され、一度も中断することなく続

けられ、今年で 95 回目を迎えます。

2 令和4年度「安全衛生に係る東京労働局長表彰」表彰式の開催

(1) 開催日時

令和4年7月5日(火)午後2時30分より

(2) 開催場所

学士会館(千代田区神田錦町3-28)

(3) 受賞事業場、受賞者数(別添2)

事業場数:9、個人賞:12

3 第18回東京産業安全衛生大会の開催(別添3)

(1) 開催日程

6月10日(金)~7月7日(木)

(2) 開催方法

オンライン(WEB方式)

(公益社団法人東京労働基準協会連合会HPにて公開予定)

(3) 内容

特別公演1

「STOP! 転倒災害~からだと行動を見直そう~」

中央労働災害防止協会健康快適推進部

上席専門役 ヘルスケア・トレーナー 講師 砂田真弓

特別講演2

「テレワーク時代のメンタルヘルス対策 COVID-19との共生に向けて」

独立行政法人労働者健康安全機構 東京産業保健総合支援センター

産業保健専門職 講師 田中希実子

東京労働局長表彰受賞者発表

東京労働局からのお知らせ

別添資料

- 1 令和4年度全国安全週間実施要綱
- 2 令和4年度安全衛生に係る東京労働局長表彰受賞者一覧及び概要
- 3 第18回東京産業安全衛生大会開催リーフレット

令和4年度全国安全週間実施要綱

1 趣 旨

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で95回目を迎える。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により労働災害は長期的には減少してきたが、近年、就業人口の高齢化による高年齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛といった、労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加していることから、労働災害全体の件数が再び増加に転じている状況である。さらに、死亡災害も令和3年は増加に転じるなど予断を許さない状況にある。

このような状況において労働災害を減少させるためには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、またそれらを遵守・実行するための時間的・人道的に余裕を持った業務体制を構築することが重要である。そのため、令和4年度の全国安全週間は、以下のスローガンの下で取り組む。

安全は 急がず焦らず怠らず

2 期 間

7月1日から7月7日までとする。

なお、全国安全週間の実効を上げるため、6月1日から6月30日までを準備期間とする。

3 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会

4 協賛者

建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

5 協力者

関係行政機関、地方公共団体、安全関係団体、労働組合、経営者団体

6 実施者

各事業場

7 主唱者、協賛者の実施事項

全国安全週間及び準備期間中に次の事項を実施する。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にも留意する。

- (1) 安全広報資料等を作成し、配布する。
- (2) 様々な広報媒体を通じて広報する。
- (3) 安全パトロール等を実施する。
- (4) 安全講習会や、事業者間で意見交換し、好事例を情報交換するワークショップ等

を開催する。

- (5) 安全衛生に係る表彰を行う。
- (6) 「国民安全の日」（7月1日）の行事に協力する。
- (7) 事業場の実施事項について指導援助する。
- (8) その他「全国安全週間」にふさわしい行事等を行う。

8 協力者への依頼

主唱者は、上記7の事項を実施するため、協力者に対して、支援、協力を依頼する。

9 実施者が準備期間中及び全国安全週間に実施する事項

安全文化を醸成するため、各事業場では、全国安全週間及び準備期間を利用し、次の事項を実施する。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にも留意する。

- (1) 安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意思の統一及び安全意識の高揚
- (2) 安全パトロールによる職場の総点検の実施
- (3) 安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等の他、ホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信
- (4) 労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施による家族への協力の呼びかけ
- (5) 緊急時の措置に係る必要な訓練の実施
- (6) 「安全の日」の設定の他、準備期間及び全国安全週間にふさわしい行事の実施

10 実施者が継続的に実施する事項

全国安全週間における取組をより効果的にするためにも、事業者は、準備期間及び全国安全週間以外についても、以下の事項を継続的に実施する。

- (1) 安全衛生活動の推進
 - ① 安全衛生管理体制の確立
 - ア 年間を通じた安全衛生計画の策定、安全衛生規程及び安全作業マニュアルの整備
 - イ 経営トップによる統括管理、安全管理者等の選任
 - ウ 安全衛生委員会の設置及び労働者の参画を通じた活動の活性化
 - エ 労働安全衛生マネジメントシステムの導入等によるPDCAサイクルの確立
 - ② 安全衛生教育計画の樹立と効果的な安全衛生教育の実施等
 - ア 経営トップから第一線の現場労働者までの階層別の安全衛生教育の実施、特に、雇入れ時教育の徹底及び未熟練労働者に対する教育の実施
 - イ 就業制限業務、作業主任者を選任すべき業務での有資格者の充足
 - ウ 災害事例、安全作業マニュアルを活用した教育内容の充実
 - エ 労働者の安全作業マニュアルの遵守状況の確認
 - ③ 自主的な安全衛生活動の促進
 - ア 発生した労働災害の分析及び再発防止対策の徹底
 - イ 職場巡視、4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット事例の共有等の日常的な安全活動の充実・活性化
 - ④ リスクアセスメントの実施

- ア リスクアセスメントによる機械設備等の安全化、作業方法の改善
- イ SDS（安全データシート）等により把握した危険有害性情報に基づく化学物質のリスクアセスメント及びその結果に基づく措置の推進

⑤ その他の取組

- ア 安全に係る知識や労働災害防止のノウハウの着実な継承
- イ 外部の専門機関、労働安全コンサルタントを活用した安全衛生水準の向上
- ウ 「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」に基づく、安全衛生に配慮したテレワークの実施

(2) 業種の特性に応じた労働災害防止対策

① 小売業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業における労働災害防止対策

- ア 全社的な労働災害の発生状況の把握、分析
- イ 経営トップが先頭に立って行う安全衛生方針の作成、周知
- ウ 職場巡視、4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット事例の共有等の日常的な安全活動の充実・活性化
- エ 安全衛生担当者の配置、安全衛生教育の実施、安全意識の啓発

② 陸上貨物運送事業における労働災害防止対策

- ア 荷台等からの墜落・転落防止対策、保護帽の着用
- イ 積み卸しに配慮した積付け等による荷崩れ防止対策の実施
- ウ 歩行者立入禁止エリアの設定等によるフォークリフト使用時の労働災害防止対策の実施
- エ トラックの逸走防止措置の実施
- オ トラック後退時の後方確認、立入制限の実施

③ 建設業における労働災害防止対策

ア 一般的事項

- (ア) 足場等からの墜落・転落防止対策の実施、手すり先行工法の積極的な採用、改正された法令に基づくフルハーネス型墜落制止用器具の適切な使用
- (イ) 職長、安全衛生責任者等に対する安全衛生教育の実施
- (ウ) 元方事業者による統括安全衛生管理、関係請負人に対する指導の実施
- (エ) 建設工事の請負契約における適切な安全衛生経費の確保
- (オ) 輻輳工事における適正な施工計画、作業計画の作成及びこれらに基づく工事の安全な実施
- (カ) 一定の工事エリア内で複数の工事が近接・密集して実施される場合、発注者及び近接工事の元方事業者による工事エリア別協議組織の設置

イ 自然災害からの復旧・復興工事における労働災害防止対策

④ 製造業における労働災害防止対策

- ア 機械の危険部分への覆いの設置等によるはさまれ・巻き込まれ等防止対策の実施
- イ 機能安全を活用した機械設備安全対策の推進
- ウ 作業停止権限等の十分な権限を安全担当者に付与する等の安全管理の実施
- エ 高経年施設・設備の計画的な更新、優先順位を付けた点検・補修等の実施
- オ 製造業安全対策官民協議会で開発された、多くの事業場で適応できる「リスクアセスメントの共通化手法」の活用等による、自主的なリスクアセスメントの実施

⑤ 林業の労働災害防止対策

- ア チェーンソーを用いた伐木及び造材作業における保護具、保護衣等の着用並

びに適切な作業方法の実施

イ 木材伐出機械等を使用する作業における安全の確保

(3) 業種横断的な労働災害防止対策

① 高年齢労働者、外国人労働者等に対する労働災害防止対策

ア 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」に基づく措置の実施

イ 母国語教材や視聴覚教材の活用等、外国人労働者に理解できる方法による安全衛生教育の実施

ウ 派遣労働者、関係請負人を含めた安全管理の徹底や安全活動の活性化

エ 派遣労働者における派遣元・派遣先責任者間の連絡調整の実施

② 転倒災害防止対策（STOP！転倒災害プロジェクト）

ア 作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消

イ 照度の確保、手すりや滑り止めの設置

ウ 危険箇所の表示等の危険の「見える化」の推進

エ 転倒災害防止のため安全衛生教育時における視聴覚教材の活用

オ 耐滑性や重量バランスに優れた、転倒防止に有効な靴の着用

③ 交通労働災害防止対策

ア 適正な労働時間管理、走行計画の作成等の走行管理の実施

イ 飲酒による運転への影響や睡眠時間の確保等に関する安全衛生教育の実施

ウ 災害事例、交通安全情報マップ等を活用した交通安全意識の啓発

エ 飲酒、疲労、疾病、睡眠、体調不良の有無等を確認する乗務開始前の点呼の実施

④ 熱中症予防対策（STOP！熱中症 クールワークキャンペーン）

ア 熱中症初期症状の把握から緊急時対応までの体制整備

イ 計画的な暑熱順化期間（熱に慣れ、その環境に適応する期間）の設定

ウ 自覚症状の有無にかかわらず水分・塩分の積極的摂取の徹底

エ 熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾患（糖尿病等）を有する者に対する配慮、日常の健康管理、当日の作業開始前の健康状態の確認、暑熱順化が不足していると考えられる者の把握

オ 熱中症予防に関する教育の実施

カ 異常時の速やかな病院への搬送や救急隊への要請

キ 熱中症予防管理者の選任と職場巡視等

令和 4 年度 安全衛生に係る東京労働局長表彰受賞者一覧

優良賞

(有期事業場)

たいせいけんせつかぶしきがいしゃ とうきょうしてん
大成建設株式会社 東京支店ばばさきとおりちかせつぞくこうじ
馬場先通り地下接続工事かぶしきがいしゃはせこうこーぼれーしょん
株式会社長谷工コーポレーションかしょう えどがわくにしかさいはっちょうめいかくしんちくこうじ
(仮称)江戸川区西葛西 8 丁目計画新築工事かぶしきがいしゃふじた とうきょうしてん
株式会社フジタ 東京支店しんじゅくくいちがやかがちょういっちょうめいかくしんちくこうじ
新宿区市谷加賀町 1 丁目計画新築工事

奨励賞

(継続事業場)

かぶしきがいしゃたくわ ほんしゃ
株式会社拓和 本社かぶしきがいしゃでいっくそりゅーしょんえんじにありんぐ じょうつうしすてむじぎょうぶ
株式会社ディックソリューションエンジニアリング 情通システム事業部

(有期事業場)

しみずけんせつかぶしきがいしゃ かぶしきがいしゃふじたきょうどうきぎょうたい
清水建設株式会社・株式会社フジタ 共同企業体かくていじゅうりょうかほーむえんしんこうじ よよぎはちまんえき
各停 10 両化ホーム延伸工事 (代々木八幡駅)なかのふどー きょうえい しんどうけんせつきょうどうきぎょうたい
ナカノフドー・協永・進藤建設 共同企業体なかのひがしちゅうがっこうとうふくごうしせつしんちくこうじ
中野東 中学校等複合施設新築工事みついすみともけんせつかぶしきがいしゃ とうきょうけんちくしてん
三井住友建設株式会社 東京建築支店かしょう さるがくちょうにけいかくしんちくこうじ えーしきち
(仮称)猿楽町 計画新築工事 A 敷地

もり なかばやし とし だ けんせつきょうどうきぎょうたい
森・中林・土志田建設共同企業体

ひがしむらやましあおばちょういちちようめちない に いざししんぼりにちようめちさきかんげんすいれんらくかん に せんみりめーとる
東村山市青葉町一丁目地内から新座市新堀二丁目地先間原水連絡管(2,000 m m)
とんねる ないはいかんおよびたてこうちくぞうこうじ
トンネル内配管及び立坑築造工事

功績賞（個人）

おだ のりひこ
織田 紀彦（公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会 副会長）
きむら かずのり
木村 和紀（公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 東京都支部 理事）
とやま なおき
外山 尚紀（一般社団法人建築物石綿含有建材調査者協会 副代表理事）
ひらもり さとる
平森 悟（日本労働組合総連合会 東京都連合会 副会長）
やちだ りょうきち
谷内田 良吉（建設業労働災害防止協会 東京支部 前理事）

安全衛生推進賞（個人）

さこだ まさゆき
迫田 正幸（建設業労働災害防止協会 東京支部 港分会 安全指導者）
しま じゅん
志摩 潤（建設業労働災害防止協会 東京支部 江東分会 安全指導者）
たかの まつひろ
高野 松寛（建設業労働災害防止協会 東京支部 中央千代田文京分会 安全指導者）
ふじた けんじ
藤田 憲二（一般社団法人東京都警備業協会 業務適正化委員会 委員）
ほんだ まさひこ
本多 正彦（一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会 元理事・元副会長）
まつしま なおこ
松島 尚子（独立行政法人労働者健康安全機構 東京産業保健総合支援センター 産業保健相談員）
やまだ りゅうじ
山田 隆司（東京都社会保険労務士会 多摩統括支部 幹事）

表彰区分ごとの事業場名、受賞者名は、五十音順になっています。

安全衛生に係る東京労働局長表彰概要

1 優良賞（3事業場）

地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で、他の模範と認められる事業場

2 奨励賞（6事業場）

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で、他の模範と認められる事業場

3 功績賞（5名）

地域の中で、地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

4 安全衛生推進賞（7名）

地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

【参考】

「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する東京労働局長表彰」とは、労働安全衛生法では、働く人の安全と健康を確保し、快適な職場環境をつくるため、事業主に労働災害の防止に取り組むよう定めています。この表彰は、災害が起こっていない期間が特に長く、職場のリスクを低減する取組が特に活発に行われているなど、他の模範と認められる優良な事業場や団体をたたえるものです。

また、事業者団体の役員や学識経験者などで、長年にわたり安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上・発展に多大な貢献をした個人も対象となります。



第13次東京労働局労働災害防止計画 最終年度！

第18回 Safe Work TOKYO 東京産業安全衛生大会

別添 3

Online 2022

これまで東京産業安全衛生大会は、労働者の安全と健康の確保に対する取組の決意を共有する機会として、広く安全意識の高揚を図ることを目的として全国安全週間の時期をとらえ、気運の醸成を図るため、事業者等の関係者等が一堂に会し、専門家による特別講演、企業による事例発表、安全衛生表彰式など様々な安全衛生情報の提供の場として開催してきましたが、本年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEB上に安全衛生関係の動画などを掲載した「東京産業安全衛生大会Online 2022」を公開し、

[QRコード]



広く情報提供を行うこととしました。

東京産業安全衛生大会 Online 2022 のURL

https://www.toukiren.or.jp/tokyoanei2022_online.html

公益社団法人東京労働基準協会連合会HPトップページから、どなたでもご覧いただけます。

公開期間

令和4年

6月10日(金)～7月7日(木)



東京労働局
からのお知らせ

東京労働局長
表彰受賞者発表

特別講演

「STOP! 転倒災害

～からだと行動を見直そう～」

中央労働災害防止協会 健康快適推進部 上席専門役
ヘルスケア・トレーナー 講師 砂田 真弓



「テレワーク時代のメンタルヘルス対策

COVID-19との共生に向けて」

独立行政法人労働者健康安全機構 東京産業保健総合支援センター
産業保健専門職 講師 田中 希実子



主催: 東京労働局 各労働基準監督署(支署)
公益社団法人東京労働基準協会連合会 各地区労働基準協会

協賛: (一社)東京経営者協会 日本労働組合総連合会東京都連合会 建設業労働災害防止協会東京支部 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 東京都支部会 港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京支部 林業・木材製造業労働災害防止協会東京支部 (一社)日本ボイラ協会東京支部 (一社)日本クレーン協会東京支部 (公社)ボイラ・クレーン安全協会東京事務所 (公社)建設荷役車両安全技術協会東京都支部 東京都社会保険労務士会 (独)労働者健康安全機構東京産業保健総合支援センター 中央労働災害防止協会

後援: 東京都 特別区長会 東京都市長会 東京都町村会